

速度向上により物流の効率化を支援

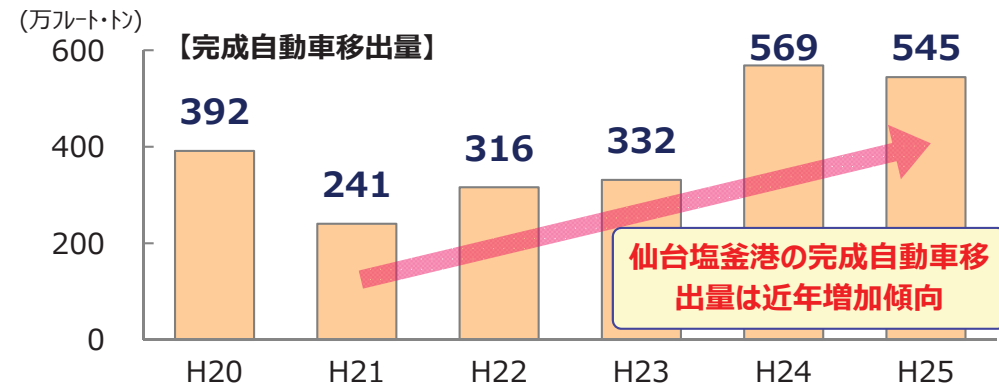
- ◆仙台北部中核工業団地群（岩手県金ヶ崎の工場を含む）で製造された完成自動車は、仙塩道路を利用して仙台塩釜港に運ばれており（運搬車両：1日180台以上）、仙台港の自動車取扱量は年々増加（仙台港は完成自動車移出量 国内第2位）
- ◆仙塩道路区間は速度低下が著しく、今回の仙塩道路4車線化により速度の向上が図られ、輸送時間短縮、輸送コストの削減など物流効率化に期待

■仙塩道路を利用した仙台塩釜港への『自動車輸送』



※トヨタ自動車のHPで公表されている年間生産台数（53.1万台）から独自に推定

■仙台塩釜港の完成自動車移出量の推移



■完成自動車移出量 ランキング(H25)



■仙塩道路4車線化による大衡IC～仙台港北IC間所要時間の変化



フルート・トンとは：貨物運賃の算定に用いられる単位。容積は1.133立方メートル（40立方フィート）、重量は1,000キログラムを1トンとし、容積と重量のうちいずれか大きい数値を用いて算出される。

●自動車輸送会社の声

- ✓仙塩道路は輸送ルート上で最も混雑しており、4車線化によりドライバーの拘束時間減少、燃費の改善など輸送コスト削減が期待されます。
- ✓また、時間的な余裕により休憩が取りやすくなり、ゆとりが生まれ事故防止も期待されます。

資料：ヒアリング調査結果(H27.11)